



2021年1月10日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 30号

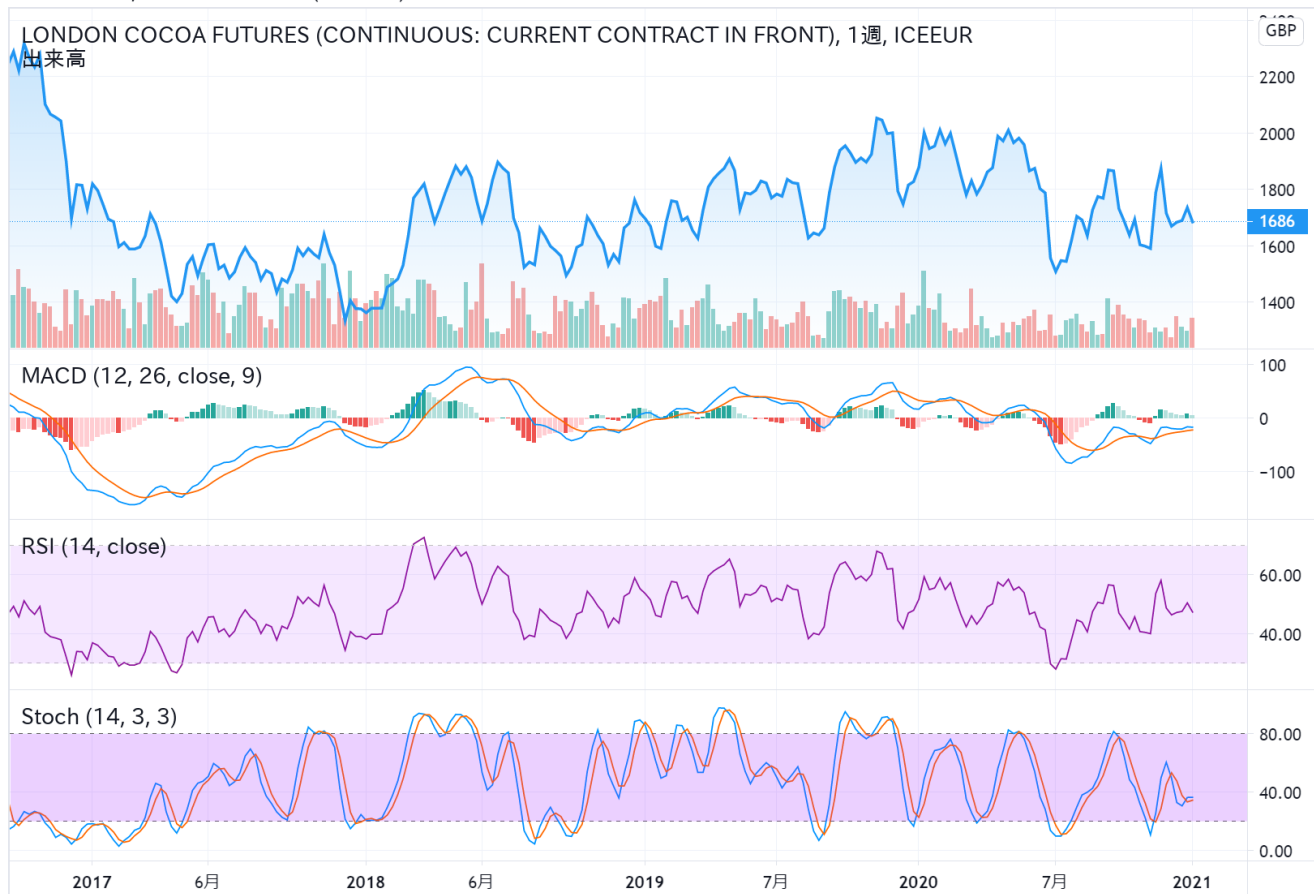
新年あけましておめでとうございます。カカオトレーダーの生田と申します。
今年もカカオニュースを何卒宜しくお願い致します。

1. 2021年カカオ相場の予測と業界展望

- ・価格動向：2021年、カカオの価格は今以上の弱含み予測、短期的には金融市場の動向に影響される。

◀2017-現在のロンドンカカオ市場の週足チャート（第一限月）▶

Cacao-wataru TradingView.com で公開, 1月11, 2021 02:47:12 JST
ICEEUR:C1!, 1W 1686 ▼-19 (-1.11%) O:1745 H:1774 L:1661 C:1686



TradingView

現在の価格の1686GBPは過去3年の範囲ではほぼ中間地点の価格であり、通常であれば高くも安くもない。しかし、実需の弱さを鑑みると、現在の価格にはまだ割高感がある事は否めない。相場の割高感があるにも関わらず、需要は少なく、通常であれば相場価格が下がり調整される可能性があるのだが、現在の市場では先物価格はあまり大きな変化がない。そのため、先物相場に追加される各産地のプレミアム（≒Differentialとも呼ばれる）が大きく下がってきている。例えば、弊社が扱う、東アフリカ産カカオの昨年10月頃のプレミアムは、アジア大口顧客向けコモディティグレードでロンドン先物相場+200英国ポンド（以下GBP）以上あった

が、現在では+70GBP 程度でも売り先を探すのが困難である。コートジボアール産では、一部で LID とプレミアムを含んで、10 月頃には+400GBP 程度あったが、年末には+50GBP 程度の価格が提示されたという情報もあり、産地筋がカカオ豆在庫を抱えて困っているという状況が確かに発生しているようだ。

先物価格の分析に話を戻すと、シンプルにカカオの需給で言えば、2021 年は、2017 年の供給過多の状況に似ており、相場は 1400GBP 程度まで下がっても不思議ではない。ロンドン（以下、LDN）市場は、ニューヨーク（以下、NY）のカカオ市場に比べ、ヘッジファンド等の金融プレイヤーの参加が少ない印象で日々の値動きの変化は少ない印象だが、それでも昨今は一日で 4-5% の値動きをする場合も時々あり、他の先物市場に比べ規模が小さいためボラティリティの大きな市場となっているので、日々の値動きに翻弄されず、中長期的な視点で買い場を探すことが重要である。

昨年 1 年の値動きと、過去のデータから見れば、LDN 市場では 1,600GBP を割り込み、1500GBP 台に入ればまず安値圏と捉えて良い。勿論、1400GBP 台以下に大きく下がる可能性も今年はあるかもしれないが、先物相場は常に未来の出来事を織り込んでそれを反映する傾向がある為、Covid 下の不透明な世界の状況はいまだ変わらないが、ワクチン開発が終了し、接種段階になっている今年については、昨年の Covid ショックのような急落は起こりにくいのではないかと予測している。その中で、昨年の最安値が 7 月の 1500GBP 丁度付近であったことから、今の相場はややまだ高いが 1500GBP 台の半ばくらいまで来ると安値圏に見え、やはり買いたいと個人的には思われる。また、カカオの実需以外の価格変動要因として下記のポイントも見ておく必要があるだろう。

- ・為替相場（円ドル及びポンドドル相場）

ロンドンカカオ相場が英国ポンド（GBP）で取引されており、日本に輸入されるカカオ豆、カカオ製品は GBP で値決めをした後に、GBP/USD レートで USD 価格に変換され、そのうえで USD/JPY レートに基いて輸入されることから為替相場もカカオ相場同様に重要な価格決定要因となる。

現況から言えば、全通貨に対してドル安の流れが昨年後半から今年のトレンドとなっている。ドル円であれば、1 ドル=100 円の可能性を探る展開があり、GBP/USD は 1.40 をうかがう可能性がある。

- ・仮想通貨、金属など、現金からの回避相場

Covid 対策により、世界的な金融緩和によるマネーの供給が増加したことで、そもそも各国通貨（貨幣）同士のレートの変化よりも、貨幣 VS 貨幣以外の代替資産への投資半分の変化も今年の大きなトレンドになっていく予測。貨幣に対する信頼感が揺らぎ、新興通貨である仮想通貨や、歴史的に貨幣の裏付けとして見なされてきた金銀等、貴金属への資金流入の影響は見逃せない。為替相場のへの影響というよりも、先物商品として、カカオ相場にも影響を与えていく可能性がある。（例えば、ファンド勢がカカオやコーヒーなどのソフトコモディティへの投資を手じまいして、仮想通貨の割合を増やす事などによる、カカオ相場への影響）

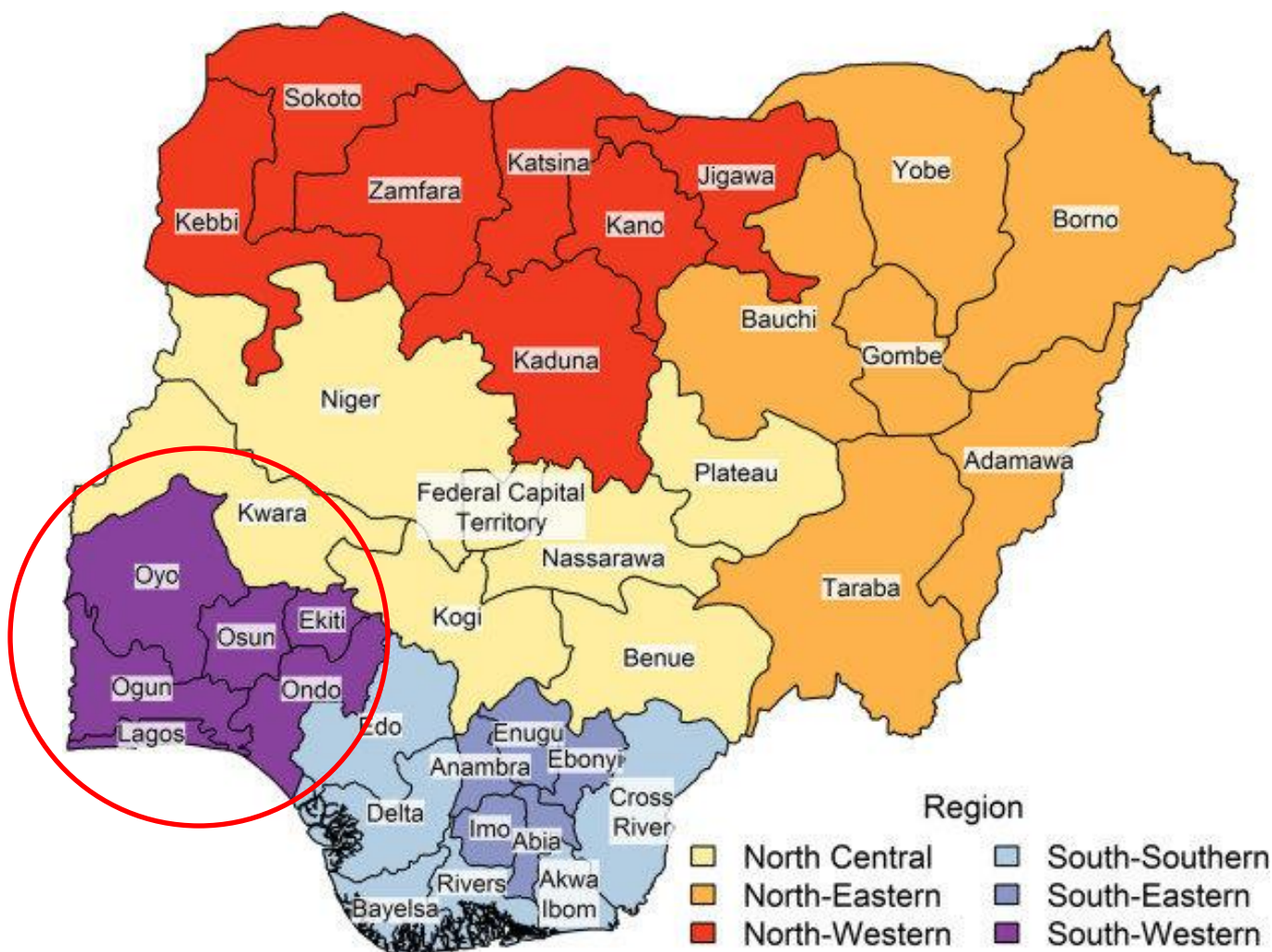
2. ナイジェリア国内取引価格はオグン州などで今週わずかに上昇 (1/7)

今週、ナイジェリアのオグン州ではカカオの価格が高くなっていると現地のトレーダーは説明。オグン州の州都アベオクタにある Nojeem Olomide 氏によれば、今週のカカオ豆の取引価格は 1 トン当たり、ナ 85 万ナイジェリア・ナイラ（以下、NGN）、米ドル換算で 2,114 で取引された。一方で、南西州の 5 つの主要なカカオ生産地区の 1 つで活動するバイヤーは先週の取引価格は 84 万ナイジェリア・ナイラだったと報告し、今週は値上がり傾向にある。

前述の Olomide 氏によれば、カカオ豆は地域での買い付け価格から、手数料、輸送費、税金、課徴金等の必要経費が加わると、ラゴスの輸出業者の倉庫入れの販売価格は 92NGN で販売されると述べました。

一方、ナイジェリアで3番目に大きいカカオ生産州であるオスン州では『今週のカカオの購入はなく、価格はわからない』と輸出業者に代わって農家からカカオを購入する Ile-Ife 協同組合生産物マーケティング連合のマネージャーである Isaac Arayela 氏は述べた。ナイジェリアのいくつかのカカオの仲買人、卸業者、輸出業者は、クリスマスと年末年始に店を閉めて以来、まだ今週は仕事に復帰していないと、南西部のオヨ州の州都イバダンのトレーダーは説明した。

《ナイジェリアの Region と State》 *紫の南西部が特にカカオ生産の盛んな地域である。



3. カメルーンの週平均ココアファームゲート価格が 0.9%上昇(1/7)

カメルーン全国ココアコーヒー生産者協会のデータによると、平均価格は1週間前の 894 フラン/ kg (≒1.69 ドル/kg) から 1月5日までの1週間で 902CFA フラン/ kg (1.71 ドル/kg) で僅かに上昇しました。各地域の価格(CFA フラン/kg)は下記の通り。

- 南西部、Kumba : 910
- 南西部、Mamfa : 900
- Littoral 地区 : 905
- センター : 905
- 南 : 890

4. ナイジェリアの11月のカカオ輸出は前年比60%増加(12/23)

ナイジェリアからのカカオ豆の輸出は、主要な港湾都市ラゴスの港湾および海運会社の代理店がまとめたデータによると、11月には前年の16,036トンから25,633トンに増加した。

- 出荷数量は10月の18,321トンから40%増加。
- ヨーロッパ向けの出荷が最も多く22,549トンを輸出。内訳ではオランダが17,900トン、残りはドイツ、ベルギー、スペイン、フランス、エストニア。
- その他の輸出先として、トルコ、インドネシア、カナダ、マレーシア
- ナイジェリアのココア協会の会長である Mufutau Abolarinwa 氏は、11月の出荷のほとんどはもっと早く行われるべきだったが、新しい輸出書類のルール変更によって輸出業務が妨げられたと述べた。
- アクレの南西部のカカオ取引センターから前述の Abolarinwa 氏は、「通常の輸出のピーク月である9月、10月、11月の受注残が遅れて輸出される為、今後2か月で量が増える」と述べた。
- 今月のココアバターの輸出量は、前年度比5倍の1,242トンとなり、前月比50%増
- ナイジェリアは世界第5位のカカオ生産国であり、カカオ協会によると2020-21年の生産量は27万トンと予測されている。

5. ファンド勢のロンドンカカオ先物の純買い越しポジションが増加(1/9)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋(Managed Money)は今週、純買いポジションを355ロット増やし、16,667ロットとなったことが、ICE欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、1月5日)の取引が含まれている。

- 買いポジションの総量は1月5日までで、前週より355ロット増えて19,741ロットとなった。
- 売りポジションの総量は1月5日までで、前週より104減少して、3,074ロットとなった。

6. ファンド勢のNYカカオ先物は、純買い越しポジションが減少で7週ぶり低水準(1/9)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋(Managed Money)は今週、純買いポジションを274ロット減らし、27,147ロットとなったことが、ICE欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで(今週で言えば、1月5日まで)の取引が含まれている。

- 純買いポジション(総買いポジション-総売りポジション)の数量27,147は過去7週で一番低い水準
- 買いポジションの総量は1月5日までで、前週より753ロット減って50,955ロットで過去6週で一番低い水準
- 売りポジションの総量は1月5日までで、前週より479減少し、23,808ロットとなった。売りポジションの総量は過去3週間で一番低い水準

7. イベント情報:サロンドシヨコラ開催:『カカオの可能性に挑むシヨコラティエたち』(1/10)

昨秋のパリでは開催されなかったサロン・デュ・シヨコラが、1月21日から東京で開催される。今年は日程をパート1、パート2の2部制に分け、事前予約制で人数を制限するなど、万全のコロナ対策も実施される。

会場は伊勢丹新宿店本館6階となり、例年より小規模にはなるが、オンラインでの販売を拡充。発送が可能なものは基本的にオンラインで購入することができる。

1月21日～25日のパート1は「Taste of Cacao」がテーマ。カカオ豆にこだわったタブレット（Bar）を作るビントゥバーをはじめ、カカオ豆からボンボンショコラまでを一貫して作るビントゥボンボンなど、カカオの味わいを生かしたクリエイションの可能性を提案する。1月28日～2月3日のパート2は「The Artisans」のテーマで、職人技に焦点があてられる。

① Forbes Japanでのサロンドショコラの見どころ特集

<https://forbesjapan.com/articles/detail/39101>

② Forbes Japanでのサロンドショコラでの注目商品6選

<https://forbesjapan.com/articles/detail/32146/1/1/1>

8. 新商品情報：『アーモンドとヘーゼルナッツのクランチチョコ』N ローソンPB(12/26)

食物繊維・イヌリンのおかげで一袋食べ切っても大丈夫な『アーモンドとヘーゼルナッツのクランチチョコ』



糖質制限ダイエット実践中、甘い物、とくに糖質の高いチョコレートはなかなか食べられない。また糖質オフのチョコレートというと、ハイカカオ（70%以上）のものが多く、独特のえぐみや酸味がどうにも受けつけないという人も多いと思う。そこでローソンPB商品『アーモンドとヘーゼルナッツのクランチチョコ』（36g・実勢価格 税込168円・発売中）。食物繊維のイヌリンを添加し、ナッツという低糖質食品を含み、低糖質甘味料のステビアを使用したことで、1袋で糖質4.9gという驚異の低糖質を実現した製品である。*上記内容は、WEBサイトの【新商品ナビ】<http://www.shin-shouhin.com/>から情報入手しております。

9. 立花商店活動レポート：チョコレートパッケージ 総選挙開催

昨年12月19日（土）にチョコレートのWEBメディア型ネットショップの『ショコラナビ』が主催するチョコレートパッケージ総選挙が行われ、弊社も本イベントの企画・開催に協力、また優勝賞品への協賛を行いました。

このイベントの内容は、前述の『ショコラナビ』のWEBサイト内にて、全国のBean to Barブランドの方々に自社のパッケージの紹介をして頂き、お客様にパッケージの好みで応援と投票をして頂くというもの。集まったチョコレートブランドは全19ブランド、投票人数は1200名以上となり、初めての試みでしたが、大変多くのお客様に参加頂きました。第3位までの開票結果は下記の通り。

第1位：チョコロンブス（福岡県）399 票

第2位：ショコラティエパレドオールブラン（東京）326 票

第3位：MURATA（宮城県）262 票

メディアやチョコレートブランドからの一方通行なイベントではなく、「投票」という形でお客様（消費者）参加型のオンラインイベントとなり、チョコレートの市場を活気づけるイベントになっていたと思います。

開票の様子は下記 YouTube リンクよりご覧ください。

<https://youtu.be/ykWOTSkwdug>

参考

ショコラナビイベントページ：

[チョコレートパッケージ総選挙 | ショコラナビ \(suit-chocolate.com\)](#)

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。